

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホッグ東住吉		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童により様々な障がい特性があり、その特性や児童本人の意向、また保護者様のニーズを踏まえ支援計画を組み様々なケースに事業所で出来得る範囲で最大限対応している点。	保護者様と緊密にコミュニケーションをとる事、児童の日々の様子をよく観察し目標設定を的確に立てれるように取り組んでいます。	思春期など児童の成長度合いによりより的確な計画を立てれるように取り組んでいます。
2	児童の置かれている環境への配慮、家庭を含めた支援。	児童の置かれている環境の把握、また本人やご家庭の要望や目標を反映させた目標設定とし支援しています。 不登校支援については外出の機会創出から不登校解消まで目標設定の難しさが、その点を意識し配慮し支援しています。	様々なケースに対応できるように職員のスキル向上、関係機関との連携強化に取り組んでいます。
3	利用時間の長い学校休業日などに集団や協調を意識し、屋内や屋外、外出など様々なイベントを実施しています。	児童の特性に合わせて屋内活動、屋外活動を組み合わせ様々なイベントを企画しています。集団活動だけでなく児童の特性に配慮し企画するようにしています。	地域の施設などでの交流する機会が乏しく、交流できる環境や機械を模索しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数が多く、共有事項や児童の支援における細かいニュアンスなどを共通化することが難しい点。	勤務数にバラつきがあり、共有度、理解度などが職員により差があることが要因と考えています。	毎週ミーティングの時間を共有事項や日々気づいた点を伝える時間を設けています。よく気づき、かつよく伝える環境づくりが今後もより進めていくことが必要と考えます。
2	職員の支援の質や人間性の成長のための研修や勉強会の機会や実施時間の確保。	求められるスキルが多様なこともあるが、効果的かつ向上できるような研修の中長期的な体系的な研修が少ないこと。	事業所内研修だけでなく、外部の研修開催のアンテナをこれまで以上に張ること、書籍なども取り入れ多角的な視点を持つことが重要と考えています。
3	PT、OT、STなど専門的な支援をおこなっていない点。 総合的な成長や支援を方針としていることもあるが、専門的な支援やプログラムとなっていない点。	PT、OT、STなどの資格所持者がいないこともあるが、個々のニーズを分析しその時点での最善な支援をしているため、事業所として特化した専門性にはなっていないため。	支援の幅を広げるためにも、様々な経験者、様々な資格保持者を取り入れて行くことを検討していきます。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 ホッグ東住吉

公表日 2025年 2月 4日

利用児童数 16

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1		1		活動を分けるなどで工夫しています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		2		イベントなど行事内容により配置を増やすことをしています
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			5		バリアフリー化はできていると思います
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					空調を新調し、さらに必要に応じてレイアウトを変え、消毒についても徹底しています
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			3		児童の特性に応じて支援内容に合理的配慮も加えながら支援をしています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			3		個々の詳細な支援プログラムまでは公表できていませんが、方針として計画に沿った支援に努めています
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					多角的な視野で意見を出し合い分析を行い計画するようにしています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			3		5領域を組み合わせ支援計画とし児童それぞれに合わせた支援計画としています
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					支援計画の目標を中心に支援を行っています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					屋内、屋外、個人、集団など多岐にわたっています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		9		地域の子ども食堂へ一部児童と参加する試みをしています
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					時間を確保し丁寧な説明を行っています
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					定期的な支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11			3		他機関連携をしながら助言するようにしています
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					密な情報共有を行い信頼関係を深めています
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					相談がなくても事業所での事案について助言を行っています
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			3		保護者様や児童のニーズを把握し共感が得られるように支援するようにしています
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	2	10		意見交換会など今後検討してまいります	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			2		内容確認等含めて迅速に対応出来ています
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					保護者様に合わせ様々な手段を導入しています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9		1	4		行事予定等のお知らせを毎月発信しています。自己評価はホームページにて掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					扱いには厳しく指導し取り組んでいます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			3		各種マニュアルを整備しております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			5		定期的に各種訓練実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			3		安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3		速やかに連絡するようにしています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					安全計画に基づいて環境整備を実施し安心できる空間に出来るよう努めています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			とても楽しみにしています	楽しみながら学べることを目標に支援しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				とても満足しています	今後も自己肯定感を育み自分自身のために生きる力を養い身に付けることが出来るように支援していきます

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ホッグ東住吉					公表日	2025年 2月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動を分けるなどで工夫しています	物理的な広さはなくテーブルの配置や限られたスペースで今後も工夫をしております	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童の特性を考慮し配置しています	イベントなど行事内容により配置を増やすことをしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差の無いよう工夫しバリアフリー化はできていると思います	今後も備品配置などをより改善してまいります	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		必要に応じてレイアウトを変え、消毒についても徹底しています	新たに空調機器を導入し、今後も都度改善を図っていきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室を必要に応じて使用できるようにしています	複数の利用希望があった場合などの利用基準や配慮すべき点を精査していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		児童により様々な試みをし振り返りをするようにしています	勤務数の少ない職員等との共有を課題としています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施しており共有しています	様々なニーズを把握は今後も注力してまいります	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		自己評価の対象は全従業員とし、面談は定期的に行っています	毎週意見を交わすミーティングを実施し業務改善に繋げるようにしています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現時点では第三者評価を導入していません	今後も引き続き検討してまいります	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に外部研修を取り入れています	職員それぞれが参加した研修に対しての社内共有をより進めたいと思います	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています	今後も見直しや改善を進めていきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		多角的な視野で意見を出し合い分析を行っている	家庭での過ごし方などを確認することが課題と認識しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画を作成するにあたって担当職員等との意見交換や会議を行い、保護者様のニーズなどを考慮し作成しています	学校や家庭での過ごし方や方向性を把握すること、連携することの精度を高めることが難しい点もあり、課題としています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を中心に支援しています	支援計画にある目標の進捗と振り返りに今後とも努めます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールに修正が必要かどうかを常に考えています	アセスメントツールは統一し使いやすいと思います	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を組み合わせ支援計画としている	児童により必要な支援を今後も反映させるよう検討してまいります	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々で立案し全員で相話し方向性を決めていきます	より効果的なプログラムを立案できるようにしてまいります	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		屋内、屋外、個人、集団など多岐にわたっています	児童の心身の状況を見ながら工夫してまいります
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援計画にも記載し分かりやすく出来ています	今後も特性や年齢を考慮した計画を検討してまいります
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々共有できていると思います	細かい調整や確認をより出来るように改善していきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々共有できていると思います	気づいた点や課題などの共有レベルを上げていきたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を日々行い確認できるようにしています	今後も継続しよりよい検証の材料に出来るようにしていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを実施し見直しをしております	より最適な計画を模索してまいります
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		各児童に求められる内容を検討し支援するようにしています	児童の成長とともに支援内容が適切か考えながら今後も務めてまいります
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童によって日々のスケジュールを自分で決め、職員が誘導する際も意思の確認をするように意識するようにしています	児童の特性によって他の注意を引くためと思われるが、良くない事象を自己選択してしまう場合の対応方法などが課題です
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童ごとの担当職員が出席しています	今後も引き続き務めてまいります
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と積極的に連携するようにしています	関係機関との連携においてその幅を広げることが課題と考えています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定等を学校と直接連携し取得するようにしています	学校により非協力的な点もあり改善していくように進めていきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所とともに関係機関と連携しています	今後も必要に応じて連携してまいります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援事業所とともに関係機関と連携しています	今後も必要に応じて連携してまいります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携し研修にも参加しています	専門機関との連携を強化し支援に生かしていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在はその他施設との活動の機会がありません	地域の子ども食堂へ一部児童と参加する試みをしています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています	今後も引き続き務めてまいります
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		密な情報共有を行い信頼関係を深めています	児童それぞれの課題の把握をできるように努めます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談がなくても事業所での事案について助言を行っています	今後も様々なご事案に対し、児童への支援等に助言を行ってまいります
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		時間を確保し丁寧な説明を行っています	利用開始後も不明な点など丁寧に説明してまいります
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成にあたっては日々接している中で児童の要望、また保護者の方のニーズを把握するようにしています	家庭環境や児童の特性によって児童の最善の利益が何か、これまで以上に精査する必要があると感じています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		定期的に支援計画の更新をし、その際にはモニタリングと新しい支援についてご説明しています	児童の障がい特性や置かれている環境により計画の修正などについても注力していきます

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談しやすい連絡体制を整えるようにしています	今後も継続して様々なご相談に応じ、児童への支援等にも助言を行ってまいります
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在父母の会等を実施はしておりません	意見交換会など今後検討してまいります
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		内容確認等含めて迅速に対応出来ています	今後も引き続き務めてまいります
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定等のお知らせを毎月発信しています	活動中や活動後の様子を伝えられるツールについて検討していきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		扱いには厳しく指導し取り組んでいます	今後も引き続き務めてまいります
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者様に合わせ様々な手段を導入しています	今後もご要望に応じて導入検討をしていきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在招待等は行っておりません	今後も引き続き検討してまいります
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しております	周知方法についてホームページへの掲載等を検討していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		警察署職員の方に講師に来ていただき、協力のもと訓練を行っています	今後も定期的に様々な有事を想定し訓練実施してまいります
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に既往歴をはじめてんかん等についても確認しております	今後も引き続き務めてまいります
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象の児童がいませんが把握に努めます	対象の児童がいませんが把握に努めます
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいて毎月実施事項を決め実施しています	毎月決められた計画を実施していますが、より適切な内容への変更を検討していきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づいて環境整備を実施し安心できる空間に出来るよう努めています	実施後の周知についてはご家庭により差があり、周知方法について検討してまいります
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		事業所の共有できるよう努めています	今後も引き続き務めてまいります
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修への参加や事業所内勉強会をおこなっています	研修参加後の共有をより進めてまいります
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な児童においては保護者様同意とともに出来ています	今後も必要に応じて取り組んでいきます	